



子ども劇場図鑑3 案

～子ども達とかつて子どもだった大人達に～

- ・大人には懐かしく、子どもには新しい
- ・お祭り夜独特の高揚感、非日常感
- ・夕暮れ（雑然）～夜中（集中）～明け方（解放）

夕暮れ

（開場）

- ・開場内は夕暮れの緑日、「お囃子」演奏
- ・自由に遊ぶ合唱隊の子供たち
- ・紙芝居、人形劇、影絵はそれぞれの屋台で準備

（開演）

- ・紙芝居屋さん、子供たちを集める
「紙芝居」



合唱隊

夕暮れから宵の口へつなぐ
例えば「夕焼け小焼け」

宵の口

- ・人形劇屋さん、子供たちをあつめる
「人形劇」



合唱隊

宵の口から夜中へつなぐ
例えば「かごめかごめ」

夜中

- ・合唱の間に照明が落ち、静寂へ
- ・影絵の明かりが入り、おもむくに影絵始まる
「影絵」（怪談系？） + 読み手（+演奏）



影絵の間に、

合唱隊、その他演者は裏へはける

夜明け

- ・暗転から、夜明け
- ・夜が明けると観客を残し誰もいない、祭りのあと

（終演）

コンテンツ

「紙芝居」
「人形劇」
「影絵」
「合唱」
「お囃子」

